

公表日

2026年 2月 20日

事業所名

こぼんはうさくら川越中央教室

保護者等数(児童数) 19名

回収数 19件(割合100%)

		チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	16	1	1	1	・もう少しだけ広いと良いのかと思う。 ・もう少し広い方がいいです。 ・適度な広さで子どもが分かりやすくなっている。	・現在のスペースを広くすることは難しいですが、教室の外に倉庫を借りるなどで整理整頓を心がけています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	0	0	0		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	0	1	0	・玄関が狭いです。 ・整理整頓されていてとてもキレイ。	・下駄箱スペースで通路が狭くなってしまいが心配をおかけしております。安全には十分に配慮しておりますのでご安心いただければと思います。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19	0	0	0	・全ての物の場所が決まっています。トイレもキレイ。	・お子さまが活動の中で自分で行えることが一つでも増えるように工夫しております。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	0	0	1		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19	0	0	0		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	18	1	0	0	・面談などで話を聞いて頂き支援計画に反映されている。 ・常に子どもの様子、変化に寄り添い、相談アドバイスなど適格に返答してもらえます。 ・面談などで充分お話を聞いていただき支援計画に反映されている。	・保護者様のニーズを的確にくみ取り、お子さまの成長を見逃さないよう支援計画を作成しております。引き続き、ご要望やご意見がございましたらお知らせください。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0	・適切な支援がされていると思っています。	・常に支援計画に沿った支援を心がけております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	1	0	0	・毎月スケジュールが変わり、イベントも多く、とても工夫されている。	・こぼんで様々な経験をしてもらえるようにプログラムを作成しています。
保護者 への 説明 等	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	0	4	8		
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	0	0		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18	1	0	0	・毎回しっかりと説明がある。	・お子さまの特性に対しての支援内容になりますので、支援内容が必要なご説明を大事にしています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	0	3	6		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19	0	0	0	・細かい所まで気にかけて声かけをしてくれる。	・保護者様との共通理解があることで、一貫した関わりができると考えています。
	16	定期的、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	1	0	0	・面談が定期的に実施され助言等を頂いていると思っています。	・ご家庭でのお困りごとを早期に把握できたり、お子さまの成長をご家庭とともに支えることができるようお話をさせて頂いています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	0	0	・些細な事でも共感して話を聞いてくれる。	・保護者様の安心につながるよう今後も支援させていただきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	1	1	4	・家族で参加できるイベントを定期的に実施されていると思っている。 ・イベントなどで保護者同士の情報交換の場が設けられている。 ・親子遠足や季節のイベントをたくさん開催されている。	・年に3回は親子参加型のイベントを行い、多くの方にご参加いただいています。ご兄弟の参加も可能なイベントもございますのでぜひご参加ください。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	19	0	0	0	・電話や送迎の際にもお話を聞いてくれる。	・相談方法が複数ございます。面談、お電話、連絡帳、他にもご都合の良い方法をお知らせいただけましたら対応いたします。また、いただいた相談内容につきましては、記録し、関係職員で共有し即座に対応しております。
保護者 への 説	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	17	1	0	1	・定期的にお知らせやスケジュール、支援内容を発信している。	・毎月のごぼんだよりやHPで教室の様子や活動内容をご案内しております。お配りするごぼんだよりをご覧いただけます様、お願いいたします。

明等	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	0	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	0	1	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	1	8	・入園8ヶ月の間で訓練はあったのかな？ちょっと分からないです。 ・避難訓練で小学校まで歩いたり、安全に注意している。	・避難訓練は安全計画に基づいて年に2回行っております。プログラムでもご案内しております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	19	0	0	0		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	0	1	1		
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18	1	0	0	・小さな出来事でもその度伝えて下さるので安心して通わせていただいている。 ・送迎で見送る時元気な時と不安な時とあります。 ・毎回楽しそうに通所しています。 ・小さい時からお世話になっている為リュックも嫌がらず背負えるようになり安心している。	・お子さまが「ごはんは安心できる場所」と感じることができるように引き続き環境を整えてまいります。
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1	0	0	・全く行き渋りもなく毎回笑顔で帰ってくるので楽しく過ごせていると感じる。 ・4、5ヶ月経ってから行き渋り有。3才なのでママと離れたくないのか？ ・朝の道のりから覚えていて楽しそうにしている。 ・帰宅後すぐにまた行く！という言葉が出ているので楽しんでいると思います。	・安心感のある関わりや成功体験を積み重ねることでお子さまが通所を楽しみにできるように引き続き支援してまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19	0	0	0	・不安な事も相談しやすく信頼ができて大変満足しています。 ・いつもありがとうございます。 ・こどもが楽しく通えているので満足しています。 ・親が気付かないような変化、成長、心配事などいつも教えていただき、とても満足して	・保護者様との情報共有と丁寧な対応を通して、支援内容への理解と満足が得られますよう努めております。

公表日

2026 年 2 月 20 日

事業所名

こぼんはうすさくら川越中央教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・現在のスペースを広くすることは難しいですが、教室の外に倉庫を借りるなどで整理整頓を心がけています。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・専門支援にも対応できるように職員の配置を行っています。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・お集まりの時間には玩具や本棚を見えないようカーテンを閉じる等、視覚優位の児に配慮を行っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・掃除の徹底 ・活動の部屋全体にジョイントマットを敷き安全に配慮している。	・子どもが走るとマットが動いてしまうので固定する等対策も必要。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	3	・必要に応じてスペースを区切ったり、相談室などを使用できるようにしている。 ・児発の部屋、放デイの部屋、個室、事務所などの部屋があるのでクールダウンできる。	・相談室を使用できるようにしているが、長期休みなど児発放デイの営業時間が重なる対応が難しい場合がある。
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	・常勤職員間で情報を共有し業務改善に取り組んでいます。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎年のサービス評価を受け、会議を行っています。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1	・外部の研修に参加したり、事業所内で研修を行っている。	・テーマを絞って研修の機会を設けている。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1	・標準化されたツールを用いたアセスメントは行っていないが、複数の指導員で日々の行動観察を行っている。 ・発達検査を受けていただいた時には情報共有をお願いしたり、インフォーマルアセスメントに関してはできる限り行っている。	
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・季節を感じられるものを取り入れたり、同じプログラムを繰り返す時は少しずつステップアップして取り組めるよう心掛けています。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・毎朝朝礼を行い、打ち合わせをしています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・口頭で確認を行った上で業務日報で全ての職員に共有できるようにしている。 ・その日の支援についての気づきなどは都度情報共有をしている。	

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・業務日報の記載	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・幼稚園、保育園、支援センターとは連携しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・関係機関（幼稚園・保育所・他事業所）へのモニタリング及び情報共有のため訪問をしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	5	・支援内容等の情報は常に用意しています	・今までは要望がなかったが今後はこちらから働きかけを行い、情報共有につなげていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	0	・センターの相談員さんが事業所に見学に来て様子をみられています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	4		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・連絡帳や送迎時に状況を伝えあい、必要に応じて支援を見学していただいて共通理解を持てるようにしています。	・連絡帳だけのコミュニケーションにならないように対応している。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・親子登室等にご参加いただくことで情報共有の機会を設けています。	・家族支援プログラムは必須と感じているので、今後行っていきたい。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・お時間を頂戴して全てご説明させていただきます。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・保護者様もお忙しい中ですが、お時間をいただいて面談した上で支援計画を作成しております。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・必ず児童発達管理責任者が支援計画のご説明をして、同意をいただいております。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・保護者から相談があった際等、家庭での関わり方について共に考え、助言や提案を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1	・親子登室や夏祭りの際に保護者同士の交流の機会を設けている。 ・イベントなどで交流の機会がある。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・お電話での相談や支援の見学など、随時お受けしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・こぼれだよりやホームページのブログなどで発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・事業所用の携帯電話等の所在確認も日々行っております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6	・事業所への招待は利用者の特性上難しい部分もあり実現できていませんが、地域行事には積極的に参加させていただいています。	

非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・各マニュアルは策定しております。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・定期的に避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・契約時にアレルギー等の重要事項は必ずお伺いしているため、医師の指示書はもらっていない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・作成した安全計画に基づいて研修や訓練、事業所周辺の安全確認等を行っています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		・まだまだ周知が足りていないと感じていますので、周知徹底をし連携を図りたいと思います。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・事故があった場合、報告書を作成し、職員で共有、対策を考えている。	・事故を起こさないことを前提に運営しているため、ヒヤリハットの機会が少なくなっています。ちょっとしたことでも見逃さないよう職員間で意見交換が必要と考えています。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・虐待防止のためのセルフチェックを行い、職員の意識付けを心がけています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0		